

「生きる力」を育むために日々取り組む本校の授業づくり

第3回学校運営協議会

個々の児童生徒に応じた教育を行い、積極的に社会生活に参加できる人間を育成する（教育目標）

新しい時代に必要な資質・能力の育成と学習評価の充実

主体的に学習に取り組む態度、自己の感情をコントロールする力、メタ認知。多様性の尊重。チームワーク、感性、優しさ、思いやりなどの人間性

学んだことを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

個別最適な学びの設定
「考える子」を育てる

生きて働く「知識・技能」の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

環境や状況は変化する
「考える」「助けてを出す」「自己決定する」「プレゼンする」力
既得の知識や技能をどのように活用するか、どうすれば獲得できるか

既習の学習力を最近接領域で上書きして実生活で生かすことができる
知識・技能の力

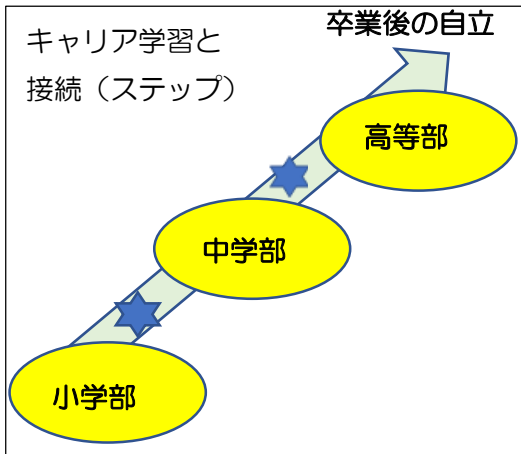
「何ができるようになるか」

学習したことを豊かな社会生活に生かす。学びの繰り返しと上書き保存の積み重ね（連続）（学部接続）が「できる」「わかる」につながる。

「社会に開かれた教育課程」

- ① 変わりゆく社会の「状況」や「変化」に対応し社会に貢献できる「自分」、周りに助けられる「自分」
- ② 子供たちが卒業後「自信をもって主体的に生きる」ために3つの「学び」を子供と共に描いていく
- ③ 地域資源の活用や実生活に役立つ子供の学習（単元計画）を計画的かつねらいを明確に設定し実施

- ・コミュニティスクール
- ・地域の方の理解と支え



「何を学ぶか」

他者と関わり主体的に学ぶ。点でなく線で単元を設定（描く）。何をどのくらいの時間で学ぶか、机上の学習と体験学習、実習、校外での学習を組み合わせ、ストーリーを描く。生活、キャリア、セルフデザイン その他

「どのように学ぶか」

主体的・対話的で深い学び

体験する・協働する・考える・話し合う・自分の意見をまとめる
人の話を聴く（傾聴）・プレゼンする・質問する・答える 自己理解・他者理解